

平成26年度
人権協会ヒューマンセミナー報告

第2回

実施日 平成27年3月5日(木)
テーマ 「子どものいじめ問題」

「地域としての取り組み」

子どものいじめ問題について

「地域としてどう取り組むか」

講師 成山治彦さん

(立命館中学校・高等学校 校長)

第1回

実施日 平成26年11月27日(木)

テーマ 「ケータイ・ネットと

子どもの人権」

「スマホ時代の子どものトラブル」

講師 若狭孝太郎さん

(摂津市教育委員会次世代育成部次長)

※ スマホを取り巻く問題の根深さを知り、対応の難しさを痛感しました。

そして講師から、「大人がこの問題について強く関心を持つこと。

そして、子どもに真に教えてほしいという気持ちで接すること。そこから、大人としての意見を言っていたことが重要です」とのアドバイスを受けました。

このことを基本として、行動すべきであることが確認できました。

※ 「いじめ」について、これまで行

われた研修や学習会(10回開催)の振り返りと、地域や個人が実施したことを、ワークショップ方式で意見が交わされました。

それぞれの班からは、討議された内容が全員に報告されました。

これをベースとして、更に「今後の課題を含めた意見交換」が行われるなど、充実したセミナーとなりました。

学習と活動から

平成26年度は、多くの人権課題の中で特に「子どものいじめ問題」を活動の柱として進めてきました。

その中から、

○ いじめ問題の多くは、教育施設内及び地域内で生まれており、特に教育関係者の間において、相当な努力が払われている。

○ いじめの防止策の一つとして「地域との課題の共有・連帯」が強く求められている。ことなどを学びました。

しかし、地域コミュニティの弱体化、モラルの低下、自己中心社会となっているという今日の環境の中で、いかにして「いじめ問題」を理解し、防止策を連携して推進していくには、非常な困難が伴います。

その中であつても、国の宝である子どもを守るため、各々の機関・地域・団体などがいじめ問題防止に向けての理解と組織・連携体制の確立が急務であります。

また、啓発活動についても、どのように展開していくのかなど、大きな問題提起であつたと思料します。

平成26年度に、協会として取り組んできた「いじめ問題」の活動から得た知識を、今後いかにして生かしていくかという大きな課題を残しています。



人権教育啓発作品展

実施日 平成26年12月5日(金)から11日(木)

場所 摂津市立コミュニケーションプラザ・

コンベンションホール

※ 幼稚園・小学校・中学校・企業・ひびきはばたき園などから応募いただいた、約1000

点の作品が展示されました。

どれも素晴らしい作品ばかりで、「子どもたちは、先生と一緒に頑張って頑張っている。大人も応えなくてはいけない」などの反響がありました。

また、それぞれの校区推進委員会が、該当校の「人権教育作品展」を実施して、地元住民への啓発活動を行いました。

人権教育啓発作品集(第20集)

展示作品の中から、該当校などと人権協会、人権教育研究会が協議して選んだポスターや標語などを掲載した作品集を発行しました。

ご入用の方は、部数に限りがありますが、人権協会にご連絡下さい。



校区の活動

▼一中校区 ▲

① フィールドワーク(一中校区・二中校区合同)

日時 12月7日(日) 8:15～18:10

行先 鳴門市ドイツ館、渦の道、イングリッシュの丘他

参加者 52名(一中27人 二中25人)

◇ 第一次世界大戦の坂東でのドイツ人捕虜収容所を詳細に描いた「バルトの楽園(がくえん)を車中で鑑賞し、捕虜と坂東の住民との交流の具体的な様々なエピソードを詳細に知ることができた。また、鳴門市ドイツ館では、映画にも登場した様々な展示物を通して、また、動く人形による本邦初とされる第九シンフォニーの演奏を鑑賞することができました。

② お話と声楽の集い

日時 12月14日(日) PM 2:00～4:20

場所 味舌小学校視聴覚室 参加者 27名

内容 第一部 講演「教科書は、どのようにしてタダになったのか」

講師・村越 良子さん(元高知市長浜)

地区教科書をタダにする会事務局員)

第二部 声楽鑑賞

出演者・姜 富媛(カンパオン)さん

曲目・誰もいない海、知床旅情、

離別、アナと雪の女王ほか5曲

③ 高齢者の介護を考える講座

日時 2月8日(日) PM 2:00～4:10

場所 安威川公民館 参加者 43名

内容 第一部 「高齢者介護の現場は、今」

～一人暮らしのお年寄りを中心に～」

講師・藤澤直子さん(マンボウ・ライフ

サービス所長・看護師)

第二部 「摂津市における高齢者介護の

制度について」

講師・摂津市高齢介護課職員

◇ 門真市の訪問介護施設で取り扱われた、一人暮らしの高齢者の事例を中心に、介護から死に至る問題点が明らかになった。

次いで摂津市の制度の説明があった。

▼二中校区 ▲

① フィールドワーク(一中校区・二中校区合同)

日時 12月7日(日) 8:15～18:10

行先 鳴門市ドイツ館、渦の道、イングリッシュの丘他

参加者 52名(一中27人 二中25人)

(内容については、一中校区欄に記載)

② 二中校区人権作品展

日時 2月7日(土)～2月15日(日)

場所 新鳥飼公民館ロビー

内容 鳥飼北小学校・鳥飼西小学校の児童による人権に関する作品の展示

③ 第2回 人権講演会

日時 2月15日(日) PM 2:00 ~ 3:30

場所 新島飼公民館集会室 参加者 55名

内容 「震災体験の学びとフルート演奏」

講師・生田 順子さん(フルート 演奏家)

奏家)

◇東日本大震災時、福島県浪江町在住で被災した経験を元に、被災者のために心をこめて演奏していただいた。また、避難する際の心構えなどお話いただいた。

▼ 三校区 ▲

① 街頭啓発

日時 10月21日(火) PM 4:00 ~ 5:00

内容 テープ音声による呼びかけと、歩行者や

自転車に乗っている人たちに安全・安心

の声かけとティッシュを配る。

② 人権日帰りバスツアー

日時 12月6日(土) 参加者 45名

行先 姫路平和資料館、姫路城及び黒田官兵衛

の世界など

◇戦争がもたらした悲劇と惨禍、平和の尊

さを学んだ。

③ 三校区区人権教育啓発作品展

日時 2月9日(月) ~ 2月12日(木)

場所 コミュニティプラザ エントランス

内容 「千里丘小学校及び三宅柳田小学校の児

童による人権啓発作品の展示。

両校の児童全員に展示会のお知らせを配り、保

護者に見ていただいた。

④ 街頭啓発

日時 2月17日(火) PM 4:00 ~ 5:00

内容 テープ音声による呼びかけと、歩行者や

自転車に乗っている人たちに安全・安

心の声かけとティッシュを配る。

▼ 四校区 ▲

① 第18回人権を考えるつどい

(味生公民館と共催)

日時 11月23日(日) PM 1:30 ~ 4:00

参加者 62名

内容 第一部 講演「いじめと人権」

〜地域で私たちができることは何か〜

講師・成山 治彦さん

(立命館中学校・高等学校校長)

第二部 落語 桂 三歩さん

◇いじめられる子が思いを語れる場を作る、

いじめられる子のストレス解消法、大人が

ちゃんと子どもと向き合う。いじめ対策に

は、学校・地域・家庭が綿密に連携するこ

との大切さを学習した。

② 民生児童委員との合同学習会

日時 12月18日(木) PM 1:00 ~ 3:00

参加者 34名

場所 あいあいホール別府

内容 講演「心の問題をどうとらえるか」

〜心の諸問題の解釈と解決方法を考える〜

講師・元第四中学校長 市橋先生

◇心(気持ち)の表し方、ことばの使い方

は、自分の意思を相手に伝える最も大切

な手段であることを知り、人権問題への

関わりにどう生かしていくかを学ぶのに

参考となった。

③ 四校区区人権作品展

日時 2月1日(日) ~ 2月15日(日)

場所 別府公民館ロビー

内容 べふ子ども園園児と別府小学校児童に

よる人権啓発作品の展示。

日時 2月15日(日) ~ 2月28日(土)

場所 味生公民館ロビー

内容 味生小学校児童による人権啓発作品の

展示。

④ 四校区内各校PTAとの合同学習会

日時 2月13日(金) PM 7:00 ~ 7:45

場所 第四中学校視聴覚室

内容 豊かな人間性を育む取組み

道徳模擬授業『心を育む』

講師・日本道徳教育学会大阪支部長

川崎 雅也さん

◇参加者への読み聞かせ方式として、語り

かける目(阪神淡路大震災の時、神戸長

田地区の火災で自宅と共に亡くなった母

親の遺骨を探し当てた少女の物語)

② バスと赤ちゃん③ 飛行機中で赤ちゃん

③

に泣かれて『登場人物それぞれの心の動きをどう表現し理解するか』を参加者で話し合った。

⑤ 人権バス研修会

日時／3月1日(日) 8:00～19:00
参加者／49名

行先／和歌山県有田郡・和歌山市方面

稲むらの火の館「濱口悟陵記念館・津波防災センター」ほか

◇安政地震津波の襲来時、稲むらに火を放ち、この火を目印に村人を誘導して多くの命を救った濱口悟陵について、功績の偉大さを学習し、日頃から地震津波の対策を地域・自治会・市が各々連携して対応を訓練する必要を学習した。

▼ 五中校区 ▲

① 人権フィールドワーク

日時／12月13日(土) 8:00～18:45
参加者／40名

行先／宇治平等院と琵琶湖博物館見学

◇改修された宇治平等院を参拝後、平安京時代の遺物を展示している鳳翔館を見学。藤原道長や頼通の栄華のあとが偲ばれる阿弥陀堂や国宝文化財を展示している鳳翔館は見応えがあった。往復の車中で見た北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の評判も良かった。

② 五中校区人権作品展

日時／12月15日(月)～18日(木)

場所／鳥飼東公民館ロビー

内容／鳥飼小学校・鳥飼東小学校児童による人権啓発作品の展示。

◇五中校区で始めての作品展を実施した。

公民館の多くの利用者に作品を鑑賞してもらったことができ、大変好評だった。

③ 人権のつどい ジャズコンサート

日時／2月8日(日) 13:30～16:00

場所／鳥飼東公民館集会所 参加者／60名

内容／第一部 人権DVD鑑賞

第二部 ジャズコンサート

出演 ケイコ・嶺&東公民社

ジャズスタンダードナンバーを中心に昭和歌曲を交えたライブ

◇2時間余りにわたって美しい音色の軽音楽とジャズのコンサートを堪能した。

今回は特別出演、松田忠信さんのユーモアたっぷりのお話は、観客の笑いを誘いながら身近な母親のことやシルバリーになった自身の身の上話を交えつつ観客を酔わせた。ケイコ・嶺さんは「昂」「愛しのエリー」を皆にはもらせながら親しみやすいトークを加えてジャズナンバーを熱唱していただいた。

平成27年度 定期総会

5月14日(木)

午後1時30分から

安威川公民館大ホールで開催

平成27年度の摂津市人権協会の定期総会が5月14日(木)に決まりました。

すでに、3月5日(木)の常任委員会で、事業計画の原案が提示されています。

原案は、「人権を取り巻く情勢は、非常に厳しいものがあります。その中で、今一度人の命に直結する身近な人権問題に関心を深め、地域住民がその解消に向けて関係機関および各団体と互いに協力しながら、地域力の向上に取り組みことが最も重要であると考えます。摂津市人権協会は、人権問題を理解し、人権を大切にする『市民』へと、意識の高揚を図るため「啓発事業」に視点を置き、「絆を基本として“気づき”と“つながり”を大切に」をベースとして、組織の強化に努め、多くの関係機関・団体と連携を図りながら事業を展開していきます。」ことを提言しています。

総会では、事業計画案の他、事業経過報告・決算・予算案が審議され、新役員が選出されます。